

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

大崎市中心市街地地区（第2期）

令和5年3月

宮城県 大崎市

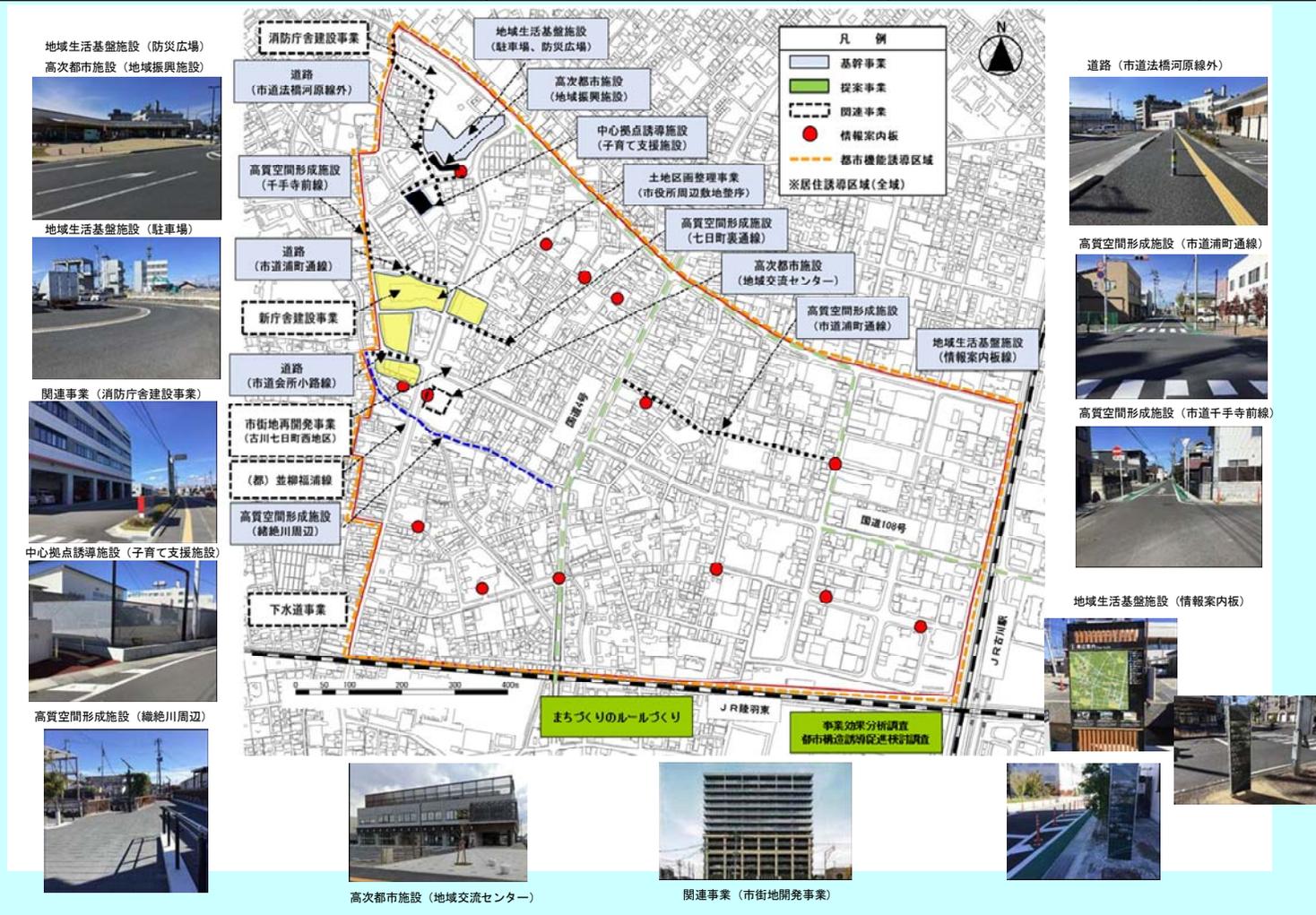
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県		市町村名	大崎市		地区名	大崎市中心市街地地区			面積	99ha		
交付期間	平成29年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	2,927百万円		国費率	0.5			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路((市)浦町通線、(市)会所小路線、(市)法橋河原線外)、地域生活基盤施設(駐車場(広域防災活動拠点施設)、情報案内板、防災広場(広域防災活動拠点施設))、高質空間形成施設(緒絶川周辺高質空間整備施設、カラー舗装(浦町通線、千手寺前線、七日町裏通線)、高次都市施設(交流施設、地域振興施設)、中心拠点誘導施設(子育て支援施設)、土地区画整理事業(市役所周辺敷地整序型))										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし		-				-				
		基幹事業	なし		-				-				
		提案事業	なし		-				-				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし		-				-				
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査、都市構造誘導促進検討調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくりのルールづくり)		旧都市再生整備計画で実施予定していた効果促進事業(事業効果分析調査まちづくりのルールづくり)について、都市構造再編集中支援事業への移行により提案事業として実施したため追加した。また、移行に伴い、都市構造誘導促進検討調査も実施することとした。				事業内容の変更ではなく、影響はない。				
		交付期間の変更	当初	平成29年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-			
		変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	中心市街地の公益施設利用者数	人/年	721,890	H27	1,043,000	R3	モニタリング	799,165	△	あり なし ●	新型コロナウイルス感染症の流行による各施設の利用制限等の影響で目標には及ばなかったが、道路整備等による回遊性の向上により着実に利用者が増えていると考えられる。	-
	指標2	子育て支援施設の利用者数	人/年	43,207	H27	58,000	R3	モニタリング	25,778	×	あり なし ●	新型コロナウイルス感染症の流行による施設の利用制限により、従前値を下回る結果となった。ただし、コロナ前で従前値を上回る傾向も確認できたため、施設整備や安心安全な歩行空間の整備が進められた影響によるものと考えられる。	-
	指標3	防災対策への満足度	%	45.3	H27	50.0	R3	モニタリング	38.0	×	あり なし ●	従前値設定以降に発生した東日本台風等による想定を上回る被害の発生や住民ニーズの多様化が影響していると考えられる。	-
	指標4	まちなか通行者数	人/年	4,944	H27	5,500	R3	モニタリング	4,191	△	あり なし ●	新型コロナウイルス感染症の流行による行動制限の影響により、従前値を下回った結果となったが、R4年度では上昇に転じた。まちなか通行者の調査は今後も継続されることから、引き続き注視していくとする。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	子育て支援と保育サービスの充実	%	41.3	H27		モニタリング	42.9					
	その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の道路網の整備により、歩行者・自転車の通行に安心安全度が増している。 中心市街地の道路網の整備、市庁舎の建て替え、地域交流センター、地域振興施設の開設、防災広場等の整備により、1期で整備された図書館等と併せて都市機能の充実が図られている。 子育て支援施設の整備や案内版の設置による施設利用の促進や利便性の向上により、まちなか居住の形成に寄与している。 												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						なし			
	住民参加プロセス	緒絶川周辺の環境整備については、これまで下水道事業計画を契機に景観形成に係わる取組みが行われている。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 今後も緒絶川周辺の環境整備への継続的な住民参加や地元商店街との連携・活動を行い中心市街地の活性化を推進する。			
	持続的なまちづくり体制の構築	定期的なイベントを開催し市街地の活性化を図った。また、チャレンジショップへの間接支援や空き店舗補助金の事業者への支援を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 今後も空き店舗等の補助金の活用や地元商店街との連携・活動支援を行い、中心市街地の活性化を推進する。			

様式2-2 地区の概要

大崎市中心市街地地区(宮城県大崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

大目標:「みちのくの架け橋 人とまち、絆とともにまちなか再生」 目標1 利便性が高く、活力を再生する都市機能の再構築 目標2 災害への備えと支えあいがある安全・安心なまち 目標3 気持ちよく歩き、憩い、皆が集いふれあうまち	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	中心市街地の公益施設利用者数	人/年	721,890	H27	1,043,000	R3	799,165	R3
	子育て支援施設の利用者数	人/年	43,207	H27	58,000	R3	25,778	R3
	防災対策への満足度	%	45.3	H27	50.0	R3	38.0	R3
	まちなか通行者数	人/日	4944.0	H27	5,500	R3	4,191	R3



まちの課題 の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市役所の建替えと連動した交流・福祉施設の集約整備が行われ、公共サービス機能が向上し、利便性が高く、活力を再生する都市機能の充実が図られつつある。 消防庁舎の整備、防災広場の確保等が行われ、広域防災活動拠点の整備が整い、更なる機能強化が図られ、安心・安全な中心市街地が再構築されている。 緒絶川周辺の整備により、歴史的環境、景観、歩きやすさに配慮した歩行者空間が確保され、古川地域らしい歴史的魅力の向上に寄与している。 中心市街地の商店街や店舗との積極的な事業連携により、中心市街地の活性化が図られている。 公共公益施設への安全な歩行空間の確保や、公共公益施設や歴史的施設等を有機的に結びつける情報案内板の整備により中心市街地の回遊性の向上が図られている。 子育て支援施設の整備や案内版の設置による施設利用の促進や利便性の向上により、まちなか居住の形成に寄与している。
今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能なまちづくりに向けて、地区内の各都市機能誘導施設を維持し続けるため、施設の機能強化や利用促進に向けた取り組みを行う。 地域活動と連携し、歴史的環境の維持、活用を図り、中心市街地の更なる賑わいを生み出し魅力の向上を進める。 道路の改良、改善等に努め、安心安全で歩きやすい、回遊性に優れた中心市街地づくりを進める。 中心市街地の水害の軽減対策として、公共下水道事業(雨水)や排水路整備事業等の実施により浸水被害の軽減を図る。